



# 帰国生の学校選び A to Z

●第30回●

帰国生入試の出願書類は早めに準備を

11月に入ると中学・高校入試の出願が始まります。帰国生入試の出願書類は複雑なので、募集要項をしっかりと確認することが大切です。入学願書以外のおもな出願書類は次のとおりです。①成績証明書(調査書)②推薦書③海外在留証明書④英語力のわかる証明書

このうち①は必ず提出せねばならない書類です。学校によっては発行までに日数を要することもあるので早めに申請しましょう。高校入試では9年間の学校教育課程修了を出願条件にしている学校があり、その場合には9年生の最終成績が記載されていなければなりません。日本人学校の場合は中学校卒業見込みとして作成された調査書を提出します。現地校9年生または日本人学校中学3年生修了前に帰国した場合は、日本の中学校の調査書も必要です。また、成績証明書の他に在学証明書が求められることもあります。

なお、補習校の成績証明書は、提出を求められていなければ不要です。海外の学校での成績は、学科試験がある場合にはあまり合否に影響しないので、あまり良い成績でないと悲観的になる必要はありません。ただし、面接試験の参考資料にはなるので、成績の良くない理由を言えるようにしておくといよいでしょう。

成績証明書以外の書類は募集要項にて提出の要否を確認してください。②は学校長発行のものがほとんどですが、そうでない場合もあります。③は保護者の勤務先の発行したものと在外公館(大使館・領事館)発行のものがあります。パスポートのコピーでよい場合もあります。④は英検の合格証明書、TOEFLやTOEICのスコア証明書を指します。英語力を出願基準としている学校では基準以上の成績の証明書が必要です。証明書の発行には日数を要することがありますので、早めに目標を達成しておくことが大切です。

このほか、海外在住中の活動に関するレポートや志望理由書の提出を求める学校もあり、出願書類の準備にかなりの時間がかかることもあります。早めに募集要項(願書)を取り寄せて準備を始めることを心がけましょう。

執筆者：丹羽 筆人 (文京学院大学女子中学校 高等学校 北米事務所アドバイザー／名古屋国際中学校・高等学校 アドミッションオフィサー 北米地域担当)

河合塾での指導経験を経て米国ではCA・NY・NJ州の補習校・学習塾にて指導。現在はデトロイトりんご会補習授業校講師。代表を務める「米日教育交流協議会」では、日本語・日本文化体験学習「サマーキャンプ in ぎふ」を実施。他に、河合塾北米事務所アドバイザー。お問い合わせ先：E-mail [bunkyo@ujec.org](mailto:bunkyo@ujec.org) Phone & Fax 855-926-1140(文京学院) E-mail [nihs@ujec.org](mailto:nihs@ujec.org) Phone & Fax 855-669-9300(名古屋国際)

